

想像し創造する
～ 100年続く美容企業～

竹内 奈緒樹

まえがき

皆さん、悩みを抱えていませんか？

人は悩みを抱えながら生きていくものですが、悩みに感謝できるような心になりたい、と私は思っています。

というのも、私は本当にいつも悩んでいます。遡れば、小学生の頃からと認識しています。学生時代は学校でのことや将来のこと、そして友人関係や家族関係について。社会人になってからは、仕事やプライベートが悩みの中心に変わりました。この「悩み」に関して、人それぞれの環境などの違いもありますが、私の体験した心境の変化から社会人になり起業するまでの志の変化をもとに、心の中心にあり続ける想いを、皆さんにお伝えしたいと思います。今の私があるのは10代の頃の経験によるものが多くを占めていると感じています。

私は自身の性格で認識をしていることが3つあります。

1つ目は『かなりの心配性』、2つ目が『理想への強い追求心』で、最後3つ目は『チャレンジ精神が旺盛』というところです。心配性とは、「できるかな？」や「できないのでは？」というものより、「こ

れで大丈夫かな?」「どうすればもつと良くなるのかな?」という確認が多いという意味です。理想への追求心は年々増し、理想が大きく、深くなる一方です。そしてチャレンジ精神旺盛なので、すごく心配性の割には周りから「大丈夫か?」と思われるような決断をできています。

このような性格ですから、悩みに対しての基本的な姿勢としては、前向きです。いえ、日々前向きになつていつているという表現が正しいかもしれません。

ですから、私は悩み事が大好き。悩んでいる自分が大好きなのです。大前提として悩み事があるから、前に進めると信じています。そして、全ては心の持ちようで解決すると理解しています。

ただ、いつどんな時でもすぐに感謝をできる人間ではありません。その心の持ちように対しては、やはり今でも苦労することが数多くあります。

私は、今年4月に40歳を迎えました。20歳から美容の仕事に携わらせていただいているので、社会人歴は今年で21年目となります。これまでの20年の中で大きな節目となったのは、起業した28歳の時です。会社を経営するようになって、今年で12年目となります。

会社勤めをしていた時も、会社を起こしてからさまざまな立場でいろいろなことに直面して悩みを抱えてきました。解決できたり、場合によつては時間に任せたりすることもありました。現在もその繰

り返しです。

ただ、自分がとても変わったと思うことが一つあります。

それは、自分を見つめ直し続けてきて気づいた、自身の在り方です。この在り方によって、人に対してとても優しく、自身に対してとても強くなりました。

私の40年間の体験からくる心の変化が、皆さんのお役に少しでも立てたらと思います、この本を書かせていただいています。皆さんの心が、前を向いてくだされば幸せです。